

2023(令和4)年11月25日 報道発表資料
[本リリース発信元] ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)



©井上写真事務所 井上嘉和

機会を失われたすべての芸術家、そして観客に捧ぐ —
“再生”の物語の主役は、他でもないオーケストラ

ロームシアター京都 × 京都市交響楽団
シアターオーケストラ・コンサート

オブリビオン
Oblivion

失われた時間と音楽、そして新たな始まりのために

指揮：園田隆一郎 構成・演出：白井晃
映像：宮永亮 管弦楽：京都市交響楽団

2023年1月14日(土)

ロームシアター京都 メインホール

[本リリースに関するお問合せ先]

ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団) 広報担当:松本、山形
電話:075-771-6051(9:00~17:00) FAX:075-746-3366 E-mail:press@rohmtheatrekkyoto.jp

■企画趣旨

異分野のアーティストやクリエイターとコラボレーションすることによって、京都市交響楽団の新たな魅力を発信するシリーズです。

今回のコンサートは、演出家・俳優として多方面で活躍しながら、音楽にも造詣のある**白井晃**が演出を手がけます。

世界的な新型ウイルスの流行、さらに痛ましい戦争の影響によって、芸術活動の機会を失ったアーティスト、観客は数え切れません。思いがけず、失われてしまった、かけがえのない時間。続いていた時間の流れから抜け落ちてしまった、表現とその記憶。それらを取り戻すかのように、パズルのピースをあてはめるかのごとく、音楽をコラージュしていきます。

白井ならではの視点によって、京都市交響楽団の演奏、映像、人々の記憶がレイヤーのように重なり合い、聴く人それぞれの心に物語が浮かび上がります。

■本企画のポイント

まさに“今”を表現したコンサート

この2～3年の間、現実には起こったさまざまな出来事によって、「**Oblivion (=忘却)**」のタイトルのおり、私たちは時間が抜け落ちてしまったような経験しました。アーティストそして観客の誰しもにとって、芸術（活動または鑑賞）の時間を奪われるような感覚が世の中を覆いました。

その置き忘れてしまった記憶たちを呼び起こすべく、京都市交響楽団の奏でる音楽が、暗い森を抜け出すための小さな灯火になること。演出を手がける白井晃がイメージしたのは、**まさに“今”を生きる人々の想いを反映したようなコンサート**です。オーケストラの演奏と映像によって、**<当たり前だった日常>→<突然の中断>→<不安>→<憤り>→<空虚>→<再出発>**といった、私たちに起こった変化を表すような構成となっています。

オーケストラが主役であること

オーケストラコンサートの主役がオーケストラであることは、当然のようでもあります。今回、白井晃は、俳優やダンサーを起用せず、**あくまでも京都市交響楽団をフィーチャーした構成と演出**であることにこだわっています。それはこのコンサートのテーマである、失われた時間からの“再生”の物語の主役が、他でもない楽団員たちであり、当事者そのものであるからです。

舞台上で展開する指揮者とオーケストラの演奏と動き、移り変わっていく映像が効果的に作用し、より立体的な音楽空間が立ち上がります。

京都の文化芸術の力が結集

京都市交響楽団による演奏はもちろんのこと、**演出を務める白井晃が京都生まれ**であることも相まって、今回のコンサートには、京都の街と人々が、以前の活気を取り戻すことへの願いも込められています。さらに、**京都市在住の映像作家・宮永亮**が手掛ける、幾重にも渉りレイヤーを重ねる手法の映像作品が加わることによって、未来に向けた新たな希望を抱くことが出来るようなコンサートが生まれます。

■プロフィール



園田隆一郎／Ryuichiro Sonoda

指揮者。2006年、シエナのキジアーナ夏季音楽週間『トスカ』を指揮してデビュー。翌年、藤原歌劇団『ラ・ボエーム』を指揮して日本デビューを果たす。同年夏にはペーザロのロッシーニ・オペラ・フェスティバル『ランスへの旅』の他、フィレンツェのトスカーナ管弦楽団との演奏会、カタールニアのベッリーニ大劇場管弦楽団の演奏会を指揮した。その後国内外のオペラへの出演、オーケストラとの共演を重ね、オペラと交響曲の両分野で活躍する指揮者の一人である。2017年度第16回斎藤秀雄メモリアル基金賞受賞。藤沢市民オペラ芸術監督。



白井 晃／Akira Shirai

京都市生まれ。早稲田大学卒業後、1983年～2002年まで遊◎機械/全自動シアター主宰。現在は、演出家として数多くの作品を発表する一方、俳優としても活躍中。2014年4月から16年3月までKAAT神奈川芸術劇場のアーティストティック・スーパーバイザー、16年4月から21年3月まで同劇場の芸術監督。22年4月より世田谷パブリックシアターの芸術監督に就任。第9回、第10回、読売演劇大賞優秀演出家賞、2005年「偶然の音楽」にて、第13回湯浅芳子賞(脚本部門)、まつもと市民オペラ「魔笛」にて第10回佐川吉男音楽賞、「バリーターク」にて第11回

小田島雄志・翻訳戯曲賞などの受賞歴がある。

宮永 亮／Akira Miyanaga

ビデオ・アーティスト。京都市立芸術大学大学院修了。平成23年度京都市芸術文化特別奨励者。カメラでとらえられた実写映像を、幾重にも渉りレイヤー合成する手法で作品制作を行い、ビデオ作品、ビデオ・インスタレーション等を発表する他、舞台映像も手がける。ロームシアター京都主催事業「シリーズ 舞台芸術としての伝統芸能 vol.1～一居一道」(2018年)でも映像を手がけた。

京都市交響楽団 / City of Kyoto Symphony Orchestra

1956年に創立し、日本で唯一、自治体が設置し、運営に責任を持つオーケストラ。2015年「第46回サントリー音楽賞」受賞。同年6月ヨーロッパ公演で成功を収め、2017年「第37回音楽クリティック・クラブ賞」本賞等受賞。2020年4月第13代常任指揮者兼芸術顧問に広上淳一、首席客演指揮者にジョン・アクセルロッドが就任。2008年4月から2022年3月まで14年間にわたり常任指揮者を務めた広上淳一のもとでは、数々の名演を生み出して黄金時代を築き上げた。2023年4月からは第14代常任指揮者に沖澤のどかの就任が決定し、京響は今、新たなステージへ向けて、名実ともに文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」として更なる前進を図っている。

■公演情報

公演名：

ロームシアター京都 × 京都市交響楽団

シアターオーケストラ・コンサート

「Oblivion (オブリビオン) ～失われた時間と音楽、そして新たな始まりのために」

日時：2023年1月14日(土) 17:00開演(16:15開場)

*終演後、白井晃によるアフタートークあり

会場：ロームシアター京都 メインホール

指揮：園田隆一郎

構成・演出：白井 晃

映像：宮永 亮

管弦楽：京都市交響楽団

曲目：

J.シュトラウスII世：ワルツ「美しく青きドナウ」

ベートーヴェン：交響曲第7番より第3楽章

ハイドン：交響曲第45番「告別」より第4楽章

ベートーヴェン：大フーガ <弦楽合奏版>

プロコフィエフ：バレエ組曲「ロメオとジュリエット」より抜粋

ホルスト：組曲「惑星」より《金星》

ラヴェル：ボレロ

主催：京都市、ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)

特別協賛：日東薬品工業ホールディングス株式会社

後援：京都新聞

令和4年度文化資源活用推進事業

チケット料金：

全席指定 S席 6,000円、A席 5,000円、B席 3,000円

ユース(25歳以下) S席 3,000円、18歳以下 S席 2,000円

中学生無料ご招待*

*先着100席。劇場オンラインチケットおよびチケットカウンターのみ取扱。

※未就学児入場不可

※託児サービスあり。詳細・お申込みはロームシアター京都 WEB サイトをご覧ください。

チケット発売日：

2022年11月19日(土) 一般発売 / 11月12日(土) 会員先行発売

チケット取扱：

■オンラインチケット 24時間購入可 ※要事前登録(無料)

<https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/>

■ロームシアター京都 チケットカウンター

TEL.075-746-3201 (窓口・電話とも 10:00~19:00 / 年中無休 ※臨時休館日を除く)

■京都コンサートホール チケットカウンター TEL.075-711-3231

(窓口・電話とも 10:00~17:00 / 第1・3月曜日休館 ※休日の場合は翌日)

■チケットぴあ

<https://t.pia.jp/> 《Pコード：230-364》

■イープラス

<https://eplus.jp/>

問合せ先：ロームシアター京都チケットカウンター TEL.075-746-3201

公演詳細 WEB ページは [こちら](#)